



妹 山

令和 2年 1 1月 2日発行

吉野町立吉野中学校

文責 校長 紙岡秀樹

本校教育目標

学び合い、鍛え合い、
ともに生きる

朝晩がかなり寒くなってきました。保護者の皆さんの中で体調を崩している方はいないでしょうか？体育大会が終わると同時に、小中一貫校の工事が始まりました。ちょっと学校が落ち着かない感じがありますが業者の方々が配慮をしながら工事をしてくださっています。もし子どもから工事に関して困っていること等、お家の方で話が出ましたら、すべてがうまくいくことはないかも知れませんが対応したいと考えています。遠慮なく学校まで連絡してきてください。



この前、生徒たちに「ルールの大切さ」ということを話しました。集団生活を行っていく上では必ずルールというものがが必要です。また、中学校では「校則」と言いますが、この校則を守ることによって、社会に出てからの多くのルールが守れる人間に成長するものだとして今まで教師生活を送ってきました。時には担任が細かなことまで言うことがあるかもしれませんが、ご理解していただければと思っています。

1、10月3日の体育大会



半日開催として実施した体育大会。子どもたちは多くの制限の中で見事に成功させました。他校では取りやめとなっている行事もある中、職員一同「できるだけ子どもたちに多くのことを経験・体験させてやりたい」と思い、さまざまなことに配慮しながら実施をしています。

体育大会は晴天の中、子どもたちは、日ごろ感じているストレスを自分たちのアイデア等でうまく発散できていたのではなかったのでしょうか？子どもたちが主体的に考え成功させることができたという点では、吉中の子どもたちの秘めている力はかなりなものであると実感させられました。閉会式でも言ったように、当日味わった自己有用感や自尊感情を体育大会当日で終わらせるのではなく、今後の生活に繋

げていくことができれば、もっとすごい吉中になるのではないかと、そう考えています。また、当日は多くの方々に来校していただいたこと、コロナに関わって保護者の皆さまにかなりの無理を聞いてもらいましたことを心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

2、友灯審査会が開催



1学期から取り組んできた今年度の友灯工房。その審査会が10月23日（金）に9名の各種団体の方々に来ていただき、審査会を行いました。今年の作品は優れた物が多く、受賞者数を増やすほどでした。審査に来られた各種団体の皆さんの中には、「かなり審査が難しかった」という感想が多かったです。入賞者は審査会後の、



吹奏楽部演奏発表会の前に表彰を行いました。この友灯制作は、「ふるさと学習」の一貫で、地元の割り箸、木材、和紙を利用して友灯を制作します。ふるさと吉野にはこのような立派な伝統産業があり、それらとともに吉野町が発展してきたという歴史があります。子どもたちの心にいつまでも残るものとなってもらえばと考えています。

3、吹奏楽部演奏会とアート部作品展示



今年度、文化発表会中止のため、吹奏楽部の演奏会を10月23日（金）の15時10分から15時40分まで体育館で行いました。今年度最初で最後の演奏会となりました。部員たちの演奏の様子をみていると、もっと活躍の場を提供してあげたかったと感じさせられました。よかったぞ吹奏楽部！！



アート部の作品は、2学期の終わりまで、校内展示をします。力作揃いのすばらしい作品ばかりで、日ごろの努力がうかがえる作品と

なっています。保護者の方々は、三者懇談等の機会を利用して、ぜひご観覧ください。